

品名	水素	国連番号	1049
----	----	------	------

該当法規・危険有害性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火薬類取締法			道 路 法		
種 別					指定可燃物	品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧ガス	液化石油ガス	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12、13に該当	
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類												
									●						●	
特 性	危 険 性			有 害 性					環 境 汚 染 性		性 状					
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性				
				常温	加熱時 火災時	水に接触										
		●	●										●			

事故発生時の応急措置

- ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ 火気厳禁。エンジンの熱や火花は着火源になる。
- ④ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。
- ⑤ 風上より、消火、漏れ止め、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。
- ⑥ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

緊急通報

119 (消防署)

110 (警察署)

高速道路の非常電話

[緊急通報例]

- ① いつ 〇〇時 〇〇分頃
- ② どこで 〇〇市〇地区(国、県、市)道〇〇号線〇〇付近で
- ③ なにが 「水素ガス(高圧ガス、可燃性)」が
- ④ どうした 漏れています。漏れて火災になっています。
- ⑤ ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします)。ケガ人はいません。
- ⑥ 私の名前は 〇〇運送会社 〇〇です。

緊急連絡

(特に、休日・夜間に確実に連絡がとれる部署の電話番号を記入する)

荷主会社	株式会社オカノ ガス部	運送会社	
住 所	嘉手納町字屋良1022	住 所	
電 話	平日・昼間 098-956-2040 休日・夜間 098-867-1611	電 話	平日・昼間 休日・夜間

品名	水素	国連番号	1049
災害拡大防止措置			
特記事項	処理剤		
<p>① ガスが漏えいした場合、空気中の濃度が4%を超えると、火災や爆発の危険が生じるので、ガスを覆っているシート内に滞留しないよう注意する。非常に軽いガスで、漏れると上部に滞留する。</p> <p>② 低い着火エネルギーで簡単に着火するため、火災だけでなく、高熱物、化繊材の服の静電気や工具使用時の着火源にも注意が必要。</p> <p>③ 漏えいし、着火していても、炎が見えにくいいため火傷に注意するとともに、漏えいの状態をしっかりと確認しておく。</p> <p>④ 容器内充てん圧力 : 35℃で14.7MPa (150kg/cm²) [ゲージ圧力] または 19.6MPa (200kg/cm²) [ゲージ圧力]</p> <p>爆発範囲 : 4～75% (空気中)</p> <p>相対密度 (ガス比重) : 0.07 (空気を1とする。空気より非常に軽い。)</p> <p>色・臭い : 無色・無臭</p> <p>容器外面の塗色 : 赤色</p>			
漏えいしたとき			
<p>① 通風を良くして、ガスが滞留しないようにする。</p> <p>② 防災工具を用い、風上より容器バルブ又は漏えいしている部分を静かに増し締めし、漏れを止める。ガス取出口から漏れいしているときは、パッキン及び口金キャップを取り付ける。</p> <p>③ 漏れが止まらないときは、着火源を避け、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。</p>			
周辺火災のとき			
<p>① 容器を安全な場所へ移動する。</p> <p>② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。</p>			
引火・発火したとき			
<p>① 近くに着火源がなくガスが滞留しない場所で、風上より消火し、漏えい防止措置を施す。</p> <p>② 容器の温度が高い場合は、発火している容器及び周囲の容器に噴霧散水した後、周囲の容器を安全な場所に移動する。</p> <p>③ 周辺及び漏えい状況から判断して、消火するとかえって危険性が増すと考えられるとき等は、火災の拡大・類焼を防止するため、周囲に噴霧散水しながら、容器内の水素ガスがなくなるまで燃焼させる。</p>			
救急措置			
<p>① 火傷の場合はきれいな水や氷で患部を冷やす。ショック状態の場合は頭を低くして寝かせ、暖める。</p> <p>② 多量に吸入した場合は、直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難なときは酸素吸入を行う。</p> <p>③ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。</p>			